

# 森林に秘める魅力と可能性

18班 コミュニティデザイン学科 三森岳 熊谷咲耶  
 建築都市デザイン学科 後藤愛尊 竹内沙爽  
 社会基盤デザイン学科 唐澤月寧 齊藤有唯  
 グループ指導教員 近藤伸也



地域名：那須塩原市

パートナー名：那須塩原市産業観光部農務畜産課

## 背景

塩原地区では、地域住民と観光客に安らぎを与えるような林内整備を図るとともに、景観を維持しつつ山地災害の防止を図ることも求められている。

健全な森林サイクルの構築・林業従事者の育成・確保・**森林や林業の普及啓発活動の促進**が課題として挙げられる。また令和6年度から那須塩原市で**森林環境税**及び**森林環境譲与税**の徴収が始まったが、市民の認知割合は低いと考えられ、多くの市民への**周知・PR活動**が重要となっている。

## 目的

市民一人一人が森林の重要性や課題を認識し、関わりを持ってもらえるような周知・PR方法を社会実験を通じて提案する。また、それに合わせて森林環境税・森林環境譲与税についても周知・PRの方法を探る。

## 方法

<1st cycle>

・現地調査

①那須塩原市森林組合を訪問

目的：森林の現状・課題を明確にする。

成果：間伐の重要性と間伐の有無で明るさが異なる。

②森林啓発を行う民間団体さんとフィールドワーク

目的：10月にイベント開催が決定→開催場所の森林を訪問し、イベントについて見通しを立てる。

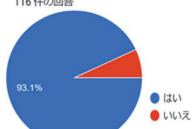
成果：・森林保全の重要性  
・一般人でも森林と関わることはできる。

③高校生へのアンケートの実施

目的：自然に対する意識やイベントへのニーズの確認

## 分析結果

自然や森林は好きですか。 116件の回答



あなたはこの一年間で、どのくらい森林に行きましたか。 116件の回答

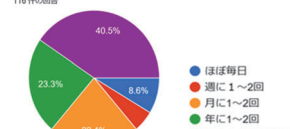
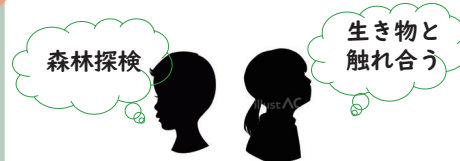


図1より、自然や森林は好きだが、定期的な関係を持つことができていないことが分かる。このことから**自然と関わりを持つ機会が不足している**可能性があると考えた。

図1 那須拓陽高校1年生へのアンケート



Q.どのようなイベントだったら参加したいか？

このことから森林でイベントを開催する際は**体験型のものが有効**ではないかと考えた。

<2nd cycle>

①イベントの企画・広報

青空プロジェクト THE DAYさん協力のもと、森林での体験型イベントを企画

②Instagramでの投稿やポスターの作成などによる広報

・イベントの実施  
・森林環境税に関するポスターの作成  
・利用者への聞き取り  
→市民向けと企業・団体向けの2つのパターンを作成



【イベントの概要】

「親子で・IDAY森林体験in那須塩原」

森林に興味を持ち、継続的に関わるための第一歩として、参加者が自分なりの魅力を見つけられる体験を提案する。

場所：那須塩原市中塩原

日時：10月19日（土）9：00～14：00

参加者数：41名



○大人へのアンケート結果

このイベントで得られたことについて、当てはまるものを選んでください。 13件の回答

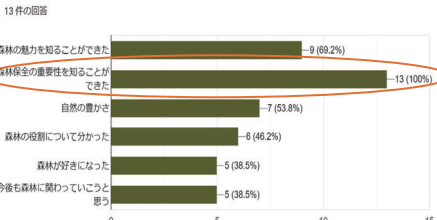


図2 イベント後の保護者へのアンケート

図2から、「森林保全の重要性を知ることができた」と答えた保護者が100%であることが分かる。**イベントは森林管理を行う立場の大人の意識も高める**効果があったといえる。これは実際に森林の様子を見ながら学んだためだと考えられる。このようなイベントを繰り返し行うことで、森林管理に関する現状を改善することができる。と考える。

○子どもへのアンケート結果

・イベント内で見つけた森林の良いところについて記述してもらったところ、多様な回答が見られた。これは、ミッション形式にして様々な体験ができるようにしたことが要因だと考えられる。また、得られた回答は森林の機能の各項目に該当していた。



図3 森林の機能（日本学術会議答申）

## 提案

定期的にイベントを開催し、**森林と関わるきっかけ**を作ることによって継続的に森林に関わってもらうことを目指す。

今回できなかったこと+好評だったものを組み合わせる

- ①体験型のアクティビティを行う
- ②森林の危ない面・整備を行う重要性を伝える
- ③継続的な参加のための仕組み作り
- ④さまざまな世代の方にアプローチ

(1)職業体験で森林と触れ合う

対象：中～高校生

研究職系と林業従事者の2つのコースに分かれて実施。専門家や関係者のもと、森林整備・伐採や生き物観察などを行う。森林に関わる仕事を体験してもらうことで、**林業従事者育成と森林理解を深める**きっかけを作る。

(2)模擬災害ワークショップ

対象：小学生の親子・家族  
森林に関わる災害のメカニズムを体系的に学ぶ。実験形式で、森林伐採と災害や、森林と河川系の関係など森林保全活動を行うことで自然災害を防ぐことに繋がることを理解してもらう。

◎中高齢世代のイベント参加

対象：地域の大人

(1)や(2)のようなイベントにサポーターとして参加する。地域特有の知識を次の世代へつなげる。

◎木製コインの活用

イベント開催毎に木製の**コイン**を通貨として配布し、規定数集めると有料イベントに無料で参加できるようにすることで、継続的に参加してもらえるようにする。

○森林環境税・森林環境譲与税について**広報の目的によって内容、掲載方法を変える**

- 【市民向け】税金の存在を知ってもらう
- ・簡潔な説明、補助金を活用したイベントの写真
- ・図書館など公共施設やHPでの掲載
- 【企業向け】**企業団体に利用**してもらう
- ・金額や対象など利用を検討してもらえるような内容
- ・市民活動センター等でのポスター掲載

